

学校評価に係るアンケート結果

【判定】（市の基準）
 A：肯定率の平均が90%以上
 B：肯定率の平均が60%以上90%未満
 C：肯定率の平均が60%未満

※肯定率は評定4・3の合計（児童、保護者 93%以上…○ 85%未満…○）

評価領域	番号	評価指標・質問	対象	判定	肯定率	評定(%)				教職員による自己評価・考察 ○成果 ◆課題と対策
						4	3	2	1	
教育課程・学習指導	1	教師は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	教職員	A	96	26	70	4	0	<p>○6年生の全国学力・学習状況調査の結果は、県・全国の平均値を上回っており、5年生の県学力テストの結果でも市・県の平均値を上回っている。タブレット端末を使いながら、自分の考えを表現したり、友達の考えを共有したりする学習を深めるツールとしてICTが大きな意味を持つことができた。また、EILS等を活用して、定期的に確認テストを行うことで、基礎・基本の定着を図るための一助となった。</p> <p>◆全体的に基礎・基本は身に付いているものと思われるが、学力の二極化が見られる。それに対する取組として、学び合いを重視した授業、家庭学習の充実を推進していきたい。また、引き続き、個の実態に応じた支援も行っていきたい。</p>
		教師は、教科等の指導においてタブレットの活用等、効果的にICT機器を活用している。	教職員	A	96	57	39	4	0	
		授業の内容がよく分かりますか。	児童	A	94	59	35	5	1	
		タブレットを使うことで、学習がよく分かり楽しくなりましたか。	児童	A	94	75	19	5	1	
		学校は、タブレット端末などICT機器を積極的に活用し、よく分かる授業づくりやICT活用能力の向上に努めている。	保護者	A	92	36	56	8	1	
	2	お子様は、学習面での基礎・基本が身に付いている。	保護者	B	79	28	51	19	1	
		教師は、児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	教職員	B	87	30	57	13	0	
		ふだんの授業で、自分の考えが発表できていますか。	児童	B	76	44	32	21	3	
		進んで学校や家での学習に取り組んでいますか。	児童	A	91	57	34	7	2	
		読書に熱心に取り組んでいますか。	児童	B	83	51	32	12	5	
3	外で元気に遊んだり、体を動かしたりすることに、進んで取り組んでいますか。	児童	B	89	65	24	9	2		
	お子様は、学習に意欲的に取り組んでいる。	保護者	B	80	32	48	17	3		
	お子様は、進んで運動に取り組んでいる。	保護者	B	78	37	41	19	3		
人権・同和教育、生徒指導	3	教師は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	教職員	A	100	61	39	0	0	○児童は、周囲の環境から差別やいじめが許されるものではないという認識を持つことができています。
		差別やいじめを許さない気持ちを強く持っていますか。	児童	A	93	67	26	6	1	
		友達が困っているときに、進んで助けることができていますか。	児童	A	92	61	31	7	1	
		学校は、いじめや差別を許さない意識や態度の育成に向けて努力している。	保護者	B	89	29	60	8	2	
	4	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。	教職員	A	96	35	61	4	0	<p>○学校生活を、きまりを守って楽しく過ごすことができているのは、いけないことを叱ってくれる、という安心感があることも影響していると考えられる。しかし、教師に対して、指導を受けるイメージが強くなることも考えられるので、指導と相談が両立したイメージを今後確立していきたい。</p> <p>◆挨拶については、運営委員会を中心とした毎朝の挨拶運動、昼の放送での挨拶のよい友達の紹介等、高学年の児童を中心に課題解決に取り組むことができています。今後も子どもの活動を中心に、挨拶の啓発活動を継続していきたい。</p> <p>◆悩みごとなど、直接言いにくいことを紙に書いて伝えることができるよう、毎月生活調査を実施し、定期的な相談の場を設けている。今後も継続するとともに、教師と児童の信頼関係をより築くことができるよう努めていく。</p>
		明るいあいさつができていますか。	児童	B	83	46	37	16	1	
		あなたは、学校や学級のきまりを守れていますか。	児童	A	93	55	38	6	1	
		学校や学級での生活が楽しいですか。	児童	A	96	64	32	2	2	
		悩みごとや困ったことがあるときには、先生に相談できていますか。	児童	B	77	45	32	15	8	
		友達や先生の話最後までしっかり聞いていますか。	児童	A	90	52	38	9	1	
先生は、いけないことをしたときには、しかってくれますか。		児童	A	97	79	18	2	1		
5	お子様は、安心して学校に通い、楽しい学校生活が送れている。	保護者	A	93	53	40	6	1		
	お子様は、友達や先生、地域の方々に明るい挨拶ができています。	保護者	B	87	29	58	12	1		

キャリア教育	5	教師は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。	教職員	A	91	26	65	9	0	○各学年、子どもたちが自分の夢を描いたり持ったりすることができるように、教育活動を工夫して実施することができている。また、教職員が、「この教育活動でどのような力を育てたいのか」を明確にして様々な活動を実施していることが、キャリア教育の推進につながっている。 ◆学校は、一つ一つの教育活動にねらいを持って実施しているが、その実際が保護者にうまく伝わっていないことがある。学年だより等で、活動の様子を伝えるときなどに、そのねらいや活動の過程も伝えていくことが大切である。
		夢やめあてに向かって努力を続けていますか。	児童	A	93	72	21	6	1	
		お子様は、夢やめあてを持ち、その実現のために努力を続けている。	保護者	B	67	22	45	29	4	
安全管理	6	教師は、児童に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに安全な環境づくりに努めている。	教職員	A	100	57	43	0	0	○交通安全については、適宜、生徒指導主事が呼び掛けたり、PTAの朝の見守り当番報告書等を基に、教育支援センターと連携をとったりしながら、適切な指導を行うことができている。
		学校は、交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	保護者	A	97	39	58	2	1	
保健管理	7	教師は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。	教職員	A	100	48	52	0	0	○毎時間の換気、手指の衛生について各学級担任が適宜指導を行っている。 ◆夏季、冬季休業日は、学校の始まる5日前に「早寝早起き朝ごはんチャレンジデー」を設定し、学校の生活リズムに戻していくよう意識させる取組を行っている。取組を継続するとともに、まずは普段から早起きができるように、保健だより等で啓発をしていきたい。
		学校は、「換気の確保」や「手指衛生等の指導」など、状況に応じた感染症対策を適切に行っている。	教職員	A	100	55	45	0	0	
		「早寝・早起き・朝ご飯」ができていますか。	児童	B	81	49	32	14	5	
		お子様は、「早寝・早起き・朝ご飯」ができていますか。	保護者	B	78	32	46	20	2	
		学校は、「換気の確保」や「手指衛生等の指導」など、感染症対策を適切に行うなど、安全・安心な学校づくりに努めている。	保護者	A	97	39	58	4	0	
特別支援教育	8	教師は、特別支援教育の視点を持って取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	教職員	A	91	35	56	9	0	○学級担任は、様々な個性を持つお子さんたちの一人一人の実態を把握し、保護者の皆様と情報を共有して、よりよい学校生活を送ることができるよう努めている。 ◆個人情報もあり、取組を保護者へ周知することは難しい。学級担任のみで対応するのではなく、特別支援教育コーディネーターや生徒指導主事、管理職、関係諸機関と連携を図り、早急に対応できるよう、また一人一人のよさが引き出せるよう、今後も努力していく。
		学校は、子どもたち一人一人の能力や特性に応じた支援や指導を行っている。	保護者	B	78	26	52	20	2	
組織運営	9	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	教職員	A	100	41	59	0	0	○教務主任を中心に、学年主任や各教科等の主任が、それぞれの立場で学校全体のことを考えた前向きな意見を出してくれるおかげで、組織的な対応に努めることができている。
		学校は、管理職や学年主任等を中心にチームで対応してくれている。	保護者	A	90	36	54	9	2	
研修	10	教師は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	教職員	A	96	53	43	4	0	○研修主任、学力向上推進主任を中心に、実効性のある研修が計画的に行われている。各学年、くすのき学級の授業研究を始め、センターフェスタに向けて、模擬授業を何度も行うなど、全職員でよりよい授業づくりに向けた研修を行うことができた。
保護者・地域との連携・情報提供	11	学校は、教育活動の充実に向けて、地域や保護者と連携・協力している。	教職員	A	100	52	48	0	0	○縦割り班活動が充実しているため、上学年が下学年をしっかりと世話する優しい心が伝統的に根付いている。 ○コロナ緩和により、地域との交流が再開され、公民館やPTAとの連携により、地域の方の支援を得ながら、教師の負担軽減や充実した活動を行うことができた。まつやま型コミュニティスクールの実施に向けて、さらなる連携を目指したい。 ○校報しのめ、学年だより等で学校や子どもたちの様子を伝えることができた。ホームページは毎日アップできるよう努めることができた。 ◆地域の公民館等が行う活動については、チラシだけでなく、totoru等でも知らせ、参加するよう啓発に努めた。今後も継続して行いたい。
		お子様は、地域の行事に積極的に参加している。	保護者	B	61	21	40	29	10	
		学校は、異年齢が関わる活動や地域との交流をよく実施し子どもたちの成長に役立っている。	保護者	A	95	46	49	6	0	
		学校は、学校・学年だよりやホームページ、メール等により、積極的に情報を発信している。	教職員	A	100	59	41	0	0	
		学校は、校報しのめや学年だより、ホームページなどで、学校や子どもたちの様子をよく伝えている。	保護者	A	99	55	44	1	0	
教育環境	12	教師は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	教職員	A	96	48	48	0	4	○「聴き方名人になろう」により、よい聴き方・話し方を全校で共通理解しながら取り組んだことは、言語環境の充実にもつながった。
		学校は言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	保護者	A	95	41	54	5	0	
幼保小中連携	13	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	教職員	B	86	23	63	5	9	○隣接する松山市教育研修センターや愛媛大学の先生方と積極的に連携することができた。松山市教育研修センターの指導主事の先生に研修や授業のアドバイスを進んで求めて研修に生かしたり、愛媛大学が進める地域連携実習提供事業を活用し、学生による教育支援を加えたりして、子どもたちの教育活動の充実と健全育成に努めることができた。
		学校は、教育の質の向上のために関係園・校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っている。	教職員	B	86	27	59	9	5	
		学校は、関係園・校で連携し、児童に対する教職員の理解や、児童の相互理解の促進を図っている。	教職員	B	81	36	45	14	5	
		学校は、家庭・地域・関係機関(東中・市教育研修センター・愛大・日赤など)と連携して教育活動を充実させ、子どもたちの健全育成に努めている。	保護者	A	92	40	52	7	1	